

長野県の特性（ポテンシャル）

1 日本我真ん中、長野県

- ・日本列島のほぼ中央に位置し、大都市圏に近接している。
- ・交通ネットワークの整備により、東日本と西日本、太平洋側と日本海側をつなぐ結節点として、人の交流や物流の要となっている。

データ等

- ・主要都市までの距離 東京236km、さいたま206km、新潟218km、富山198km、名古屋270km
岐阜280km、甲府178km、静岡245km、大阪442km <長野県の道路2011等>
- ・長野県に隣接する県の数 8県（第1位）<平成21年国土地理院>
- ・道路延長 47,595km（第5位）<平成21年4月一般道路（国・県・市町村道計）>

2 広大な県土、豊かな自然環境に恵まれた長野県

- ・全国有数の広大な県土を有し、豊かな森林や良好な水・大気環境、自然と人との関わりによって育まれた美しい景観、暮らしやすい気候に恵まれている。
- ・大都市と比べて短い通勤・通学時間、広い住宅面積などゆとりのある生活環境となっている。
- ・水力やバイオマスなど自然を活かした再生可能エネルギーが豊富に存在している。

データ等

- ・総面積 13,562.23km²（第4位）<平成20年全国市町村要覧>
- ・林野面積 1,022,013ha（第3位）<平成17年農林業センサス>
- ・自然公園面積 278,522ha（第3位）<平成22年環境省>
- ・3,000m峰の数 15座（第1位）<平成21年国土地理院>
- ・1住宅当たりの持ち家住宅の延べ床面積 157.2m²（第9位）
<平成20年住宅・土地統計調査>
- ・通勤・通学総平均時間 25分（第7位）<平成18年社会生活基本調査>

3 健康長寿な長野県

- ・老人医療費が低く、平均寿命は男性が全国第1位、女性が第5位で全国トップレベルの健康長寿県となっている。
- ・高齢者の就業率が全国一高く、高齢者が生きがいをもち、いきいきと働いている。

データ等

- ・平均寿命：男性 79.84 歳（第 1 位）、女性 86.48 歳（第 5 位）
＜平成 17 年都道府県別生命表＞
- ・一人当たりの老人医療費 721,989 円（第 45 位）
＜平成 20 年度後期高齢者医療事業年報＞
- ・高齢者就業率 29.9%（第 1 位）＜平成 17 年国勢調査＞
- ・入院患者 1 人当たり一般病院平均在院日数 23.9 日（第 42 位）＜平成 19 年病院報告＞

4 ものづくりのDNAが受け継がれる長野県


- ・かつての製糸王国の時代から、果敢に挑戦する企業家精神と、ものづくりのDNAが連綿と受け継がれ、超精密・超微細加工などを得意とする産業集積のもと、独自で優位性のある技術が集積している。

データ等

- ・創業 100 年以上の長寿企業 762 社（第 7 位）＜平成 22 年 9 月帝国データバンク＞
 - ・製造業の割合 県内産業の 26%＜平成 20 年度県民経済計算＞
 - ・製造業が占める移輸出（地域外からの収入）額の割合 76%
＜平成 17 年長野県産業連関表＞
 - ・加工組立型産業※の出荷額 県全体の製造品出荷額の 69%
＜平成 20 年工業統計調査結果報告書＞
- ※加工組立型産業：電子部品・デバイス・電子回路、生産用機械器具、情報通信機械器具、電気機械器具、輸送用機械器具、はん用機械器具、業務用機械器具の 7 業種

5 人の交流が盛んな長野県


- ・豊かな自然環境や温泉、多様なスキー場や文化財など、観光資源が豊富にある。
- ・急峻な地形などを克服するために古くから整備されてきた棚田や疎水（農業用水路）などが農村の美しい原風景を形成し、地域資源となっている。
- ・山村留学や滞在型市民農園など都市との交流が活発化している。
- ・二地域居住や移住先として団塊世代などに高い人気がある。
- ・長野オリンピック等の開催により、「NAGANO」は国際的に高い知名度を有している。
- ・信州への憧れをいだいている人が多い。

 データ等

- ・博物館・美術館数 361か所（第1位）＜平成21年（社）日本観光協会＞
- ・温泉地数 231か所（第2位）＜平成21年（社）日本観光協会＞
- ・スキー場数 98か所（第2位）＜平成21年（社）日本観光協会＞
- ・自然公園面積 278,522ha（第3位）【再掲】
- ・宿泊旅行者数 1,610万人/年（第2位）＜（財）日本交通公社「旅行動向2007」＞
- ・別荘戸数 40,500戸（第2位）＜平成20年住宅・土地統計調査＞
- ・山村留学受入人数 112人（第1位）＜（財）育てる会・NPO法人全国山村留学協会＞
- ・滞在型市民農園（クラインガルテン）数 17か所（第1位）＜農林水産省＞
- ・ホテル旅館客室数 71,377室（第5位）＜平成20年度衛生行政業務報告＞
- ・国宝・重要文化財（建造物）82（第6位）＜平成23年3月1日文化庁＞
- ・登録有形文化財数 369（第3位）＜平成23年3月1日文化庁＞
- ・経済産業大臣指定伝統工芸品数 7（第7位）＜平成23年3月経済産業大臣指定数＞
- ・「棚田百選」認定数 16件（第1位）＜農政部＞
- ・「疏水百選」認定数 5件（第1位）＜農政部＞
- ・「ため池百選」認定数 5件（第2位）＜農政部＞

6 農産物の生産基地としての長野県

- ・変化に富んだ気象条件や標高差を活かし、園芸作物（野菜、果樹、花き、きのこ等）や米、畜産などがバラエティーに富んだ農業が営まれている。
- ・消費地に近い有利性などから、園芸作物に全国シェアが上位の品目が多い。
- ・地域の食文化として育まれてきた伝統野菜や味噌・漬物などが、地域の特色あるブランドとして伝えられている。

 データ等

- ・耕地の標高 標高260m～1,490mに分布＜農政部＞
- ・レタス 184,000 t（第1位）
- ・セルリー 15,700 t（第1位）
- ・はくさい 212,800 t（第2位）
- ・アスパラガス 3,580 t（第2位）
- ・りんご 160,000 t（第2位）
- ・ぶどう 27,100 t（第2位）

・もも	19,000 t	(第3位)	
・カーネーション	69,000千本	(第1位)	
			<レタス～カーネーション 平成21年作物統計>
・えのきたけ	83,890 t	(第1位)	
・ぶなしめじ	47,500 t	(第1位)	
・まつたけ	7.1t	(第1位)	
			<えのきたけ～まつたけ 平成21年特用林産基礎資料>

7 地域のつながりや多様性が息づく長野県

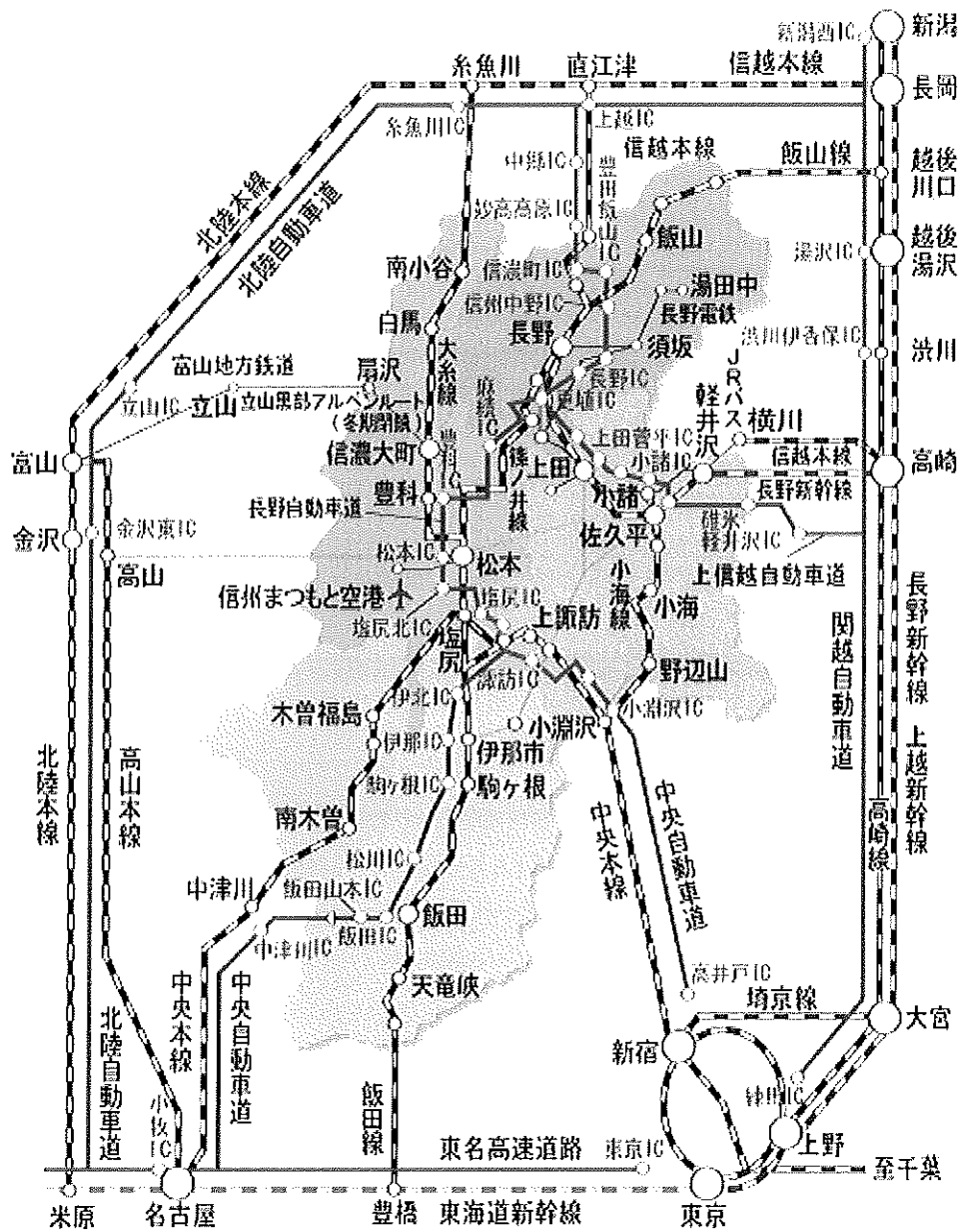
- ・全県的に気温の差が大きく、湿度が低い内陸性の気候ながら、北部の豪雪地帯や比較的温暖な南部地域など多様な気候となっている。
- ・有形無形の多様な文化が各地域で受け継がれている。
- ・人と人とのつながりや支え合いを大切にする精神など、人の温もりや絆が息づいている。

データ等

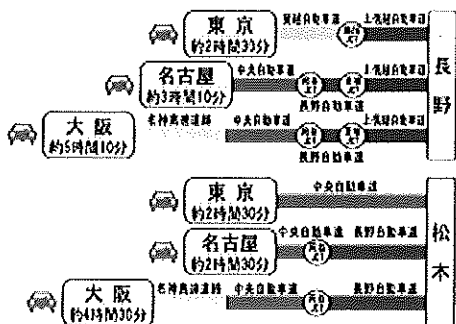
・年平均相対湿度	73%	(第3位)	<気象庁年報>
・ボランティア行動参加率	32.1%	(第8位)	<平成18年社会生活基本調査>
・人口100万人当たり公民館数	843.3館	(第1位)	<社会教育調査>

アクセスマップ

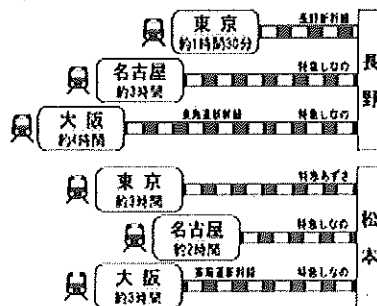
(出典：長野県公式観光ウェブサイト「さわやか信州旅.net」)



●クルマで信州へ



●電車を使って信州へ



●飛行機で信州へ

